

令和2年度 学習案内 (シラバス)

教科	外国語	学年	3	担当者	星野 公孝・藤井 久
----	-----	----	---	-----	------------

◇ 外国語科の目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

◇ 1年間の学習計画

月	学習内容	月	学習内容
6	2年生の復習、授業規律 Program 1 A History of Vegetables (受動態、現在完了) Listening & Speaking 旅行 (機内で)	10	Speaking 電話② Program 6 Let's Talk about Japanese Things (現在分詞・過去分詞の後置修飾) My Project 8 日本文化を紹介しよう
7	Program 2 Volcanoes in Japan(現在完了) Program 3 The 5 Rs to Save the Earth (It ~ for ~ to, How to~, ask 人 to ~) Speaking 道案内②(電車の乗り換え) My Project 7 あの人にインタビューしよう	11	Program 7 What Is the Most Important Thing to You? (関係代名詞の主格) Listening アナウンス(駅、空港など) Program 8 Clean Energy Sources (関係代名 詞の目的格) Writing ホームページで学校紹介 Listening 2 アナウンス (駅、空港など)
8	Program 4 Faithful Elephants Writing お祝い・お礼メール	12	Program 9 Education First: Malala's Story (reading 教材 復習)
9	Program 5 Sushi-Go-Around in the World (SVOC、使役動詞 make、間接疑問文)	1	Listening 有名人の名言 Special Project 卒業に向けて思いを伝えよう

◇ 評価方法

	評価の観点 (身に付けたい力)	評価の方法	%
関心・意欲 態度	英語でのコミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	観察 (授業中の発表、態度) で評価	25
思考・判断 表現	初歩的な英語を用いて、自分の考えや伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。	定期テスト、スピーキングテストなどの実技テスト、レポート課題などで評価	25
理解	初歩的な英語を聞いたり、読んだりして、相手が伝えようとしていることを理解できる。	定期テスト、リスニングテスト、プリントなどで評価	25
知識	言語についての知識を身に着けるとともに、その背景にある文化などを理解することができ、国際理解の一端とする。	定期テスト、プリント、スペリングコンテストなどで評価	25

◇ 学習のアドバイス

・英語は積み重ねが大切です。1・2年生の内容の復習をしっかりとやりましょう。
・聞いたり、話したり、読んだり、書いたりを繰り返し行い、新しい文法事項、表現、単語などを身につけましょう。